

## 平成 26 年度永田浜におけるウミガメに与えるタヌキの影響実態調査業務 (環境省 MW 事業) 結果報告

### 1. 事業実施団体

NPO 法人屋久島うみがめ館

### 2. 事業内容

#### ① 捕食痕跡のあるウミガメ産卵巣の数の把握

#### ② 捕食痕跡及び周辺の足跡による捕食者の検討

場所：前浜、いなか浜、四ツ瀬浜

期間：8月1日～9月30日（8月13日を除く60日間）6:30～9:00（3.5時間）

#### ③ タヌキによるウミガメの捕食の確認

場所：前浜、いなか浜、四ツ瀬浜

期間：9月1日～9月30日（30日間）、1日8時間

#### ④ センサーカメラによる捕食者の確認

場所：いなか浜（4台）、前浜（2台）、四ツ瀬浜（2台）

期間：8月1日～9月30日（8月13日を除く60日間）、日没頃（18:30～19:30）に設置し、翌朝（6:30～8:00）回収

### 3. 結果

#### ① 捕食痕跡のあるウミガメ産卵巣の数の把握

- ・永田浜全体で合計 36 巣（のべ 58 巣）の産卵巣に捕食痕跡を確認。
- ・調査期間を1週間ごとに区切って被害の発生数を調べたところ、8月の第1週（調査期間の第1週目）が最も多く、9月末に近づくにつれ減少傾向を示した。

#### ② 捕食痕跡及び周辺の足跡による捕食者の検討

- ・捕食痕跡のあった産卵巣周辺の足跡から、ウミガメの卵を捕食している鳥獣はタヌキ、カラス、ネコ、イタチと推察。
- ・そのうち、タヌキが約6割、カラスが約3割を占めた。

#### ③ タヌキによるウミガメの捕食の確認

- ・タヌキを1匹、ネコを3匹捕獲。
- ・捕獲したタヌキの胃内容物を調査したところ、ウミガメの捕食は確認できなかった。

#### ④ センサーカメラによる捕食者の確認

- ・卵や仔ガメを捕食する鳥獣は主にタヌキ、カラス、ネコであることを確認。
- ・各種の鳥獣が出没する時間帯を調べたところ、タヌキは19:00～翌日4:00、カラスは17:00～18:00及び4:00～7:00、ネコは18:00～翌日3:00に集中していた。

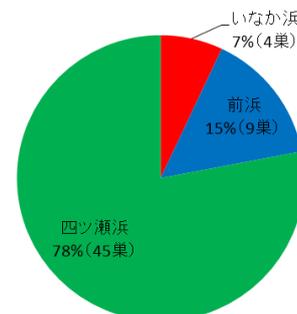


図1. 各浜別の捕食痕跡のあった産卵巣（のべ数）

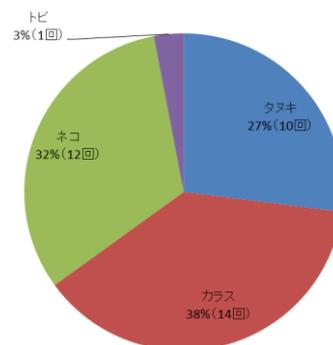


図2. 永田浜に出没した鳥獣（確認した回数）

### 4. 特記事項

- ・産卵巣を掘り返して卵や仔ガメを捕食するのはタヌキのみ。
- ・また、タヌキは高波等によって砂浜がえぐれ、流出しかかった産卵巣を狙って掘り返している。（40cm以上深く掘り返された産卵巣はない。）
- ・タヌキによって掘り返され、周辺に散乱した卵をカラスやネコが捕食している。

### 5. 今後の対策

- ・捕食被害の実態の確認、調査の拡充及び、データの蓄積。
- ・高波等によって砂浜がえぐれ、流出しかかった産卵巣の卵を安全な場所に移植。
- ・各種鳥獣の捕獲と防除対策の検討及び試行。